

※事業者からの質問事項に関する回答を整理し、随時更新予定

前橋市イノベーション創出支援事業委託業務に係る
公募型プロポーザル Q&A

No. 1

大項目	2 業務内容
ページ・項目	P. 1～2
質疑内容	<p>①イノベーション機運醸成セミナーの企画・実施 ②新規事業創出に関する講義の企画・実施 ③メンタリング（個別伴走支援）の実施 ④新規事業計画書作成支援 ⑤不足するリソースの洗い出し及び連携先スタートアップ条件の具体化</p> <p>上記①～⑤における関連性、連続性について下記の通り質問をさせていただきます。</p> <p>・①について、①の参加者が②に繋がることは想定しつつも計3回実施の内容に連続性はなく、あくまで機運醸成のための位置づけとして計3回を実施するという理解でよろしいでしょうか。</p>
回答 (5/26 公表)	<p>①の機運醸成セミナーについては、新規事業創出やオープンイノベーションに対する意識啓発を目的として実施するものであり、各回の内容は必ずしも連続的である必要はありません。</p> <p>なお、参加者が②以降のプログラムへ関心を持ち、参加につながるような構成とすることを想定しています。</p>

No. 2

大項目	2 業務内容
ページ・項目	P. 1～2
質疑内容	<p>①イノベーション機運醸成セミナーの企画・実施 ②新規事業創出に関する講義の企画・実施 ③メンタリング（個別伴走支援）の実施 ④新規事業計画書作成支援 ⑤不足するリソースの洗い出し及び連携先スタートアップ条件の具体化</p> <p>上記①～⑤における関連性、連続性について下記の通り質問をさせていただきます。</p> <p>・②と③の関係について、②を計3回実施しつつその合間にて③</p>

	<p>を実施するという理解でよろしいでしょうか。「事業者1社あたり講義の合間の2回を想定」という部分、②（上記記載で言うところの講義）の計3回の合間に2回という理解でおりますが、齟齬ございましたらご教示いただけますと幸いです。</p>
<p>回答 (5/26 公表)</p>	<p>メンタリング（③）は、講義（②）の内容を踏まえ、参加事業者ごとの検討状況に応じて適切なタイミングで実施することを想定しています。</p> <p>回数については「事業者1者あたり講義の合間の2回」を目安としており、講義期間中に実施する想定ですが、具体的な実施時期や方法については、事業効果を高める観点を踏まえた提案によるものとします。</p>

No. 3

大項目	2 業務内容
ページ・項目	P. 1～2
質疑内容	<p>①イノベーション機運醸成セミナーの企画・実施 ②新規事業創出に関する講義の企画・実施 ③メンタリング（個別伴走支援）の実施 ④新規事業計画書作成支援 ⑤不足するリソースの洗い出し及び連携先スタートアップ条件の具体化</p> <p>上記①～⑤における関連性、連続性について下記の通り質問をさせていただきます。</p> <p>・前述の質問に関連いたしますが、流れとして②→③→④→⑤と進む中で、どこかのタイミングで支援対象事業者を締め切り、支援対象企業数と企業者名がFixした状態で進む想定でおります。よって年度途中のタイミング（例えば②の2回目が終了したタイミングなど）で②を新規で希望する事業者が出てきた場合、途中参加などはご想定されていらっしゃいますでしょうか。それとも締め切られた後であるため、途中参加は認めないという理解でよろしいでしょうか。</p>
<p>回答 (5/26 公表)</p>	<p>本事業における支援対象事業者については、一定のタイミングで対象者を確定し、継続的な伴走支援を行うことを基本と想定しています。</p> <p>一方で、講義（②）等については裾野拡大の観点から、途中参加を受け入れることを妨げるものではありません。</p> <p>具体的な運用については、事業全体の効果を踏まえた提案によるものとします。</p>

No. 4

大項目	2 業務内容
ページ・項目	P. 1～2
質疑内容	<p>①イノベーション機運醸成セミナーの企画・実施 ②新規事業創出に関する講義の企画・実施 ③メンタリング（個別伴走支援）の実施 ④新規事業計画書作成支援 ⑤不足するリソースの洗い出し及び連携先スタートアップ条件の具体化</p> <p>上記①～⑤における関連性、連続性について下記の通り質問をさせていただきます。</p> <p>・⑤について、③及び④の実施後（もしくは並行して）支援対象事業者の不足しているリソースを外部スタートアップとの連携実現のため与件整理をするものとして、当該年度内の出口としては⑤にご記載の条件の具体化までであり、その後のマッチングは次年度以降という想定でよろしいでしょうか。</p>
回答 (5/26 公表)	<p>本事業においては、連携先スタートアップの条件整理等（⑤）までを主な成果として位置付けています。</p> <p>実際のマッチングや連携の具体化については、翌年度において機会提供や伴走支援を行うことを想定しています。</p>

No. 5

大項目	2 業務内容
ページ・項目	P. 1～2
質疑内容	<p>①イノベーション機運醸成セミナーの企画・実施 ②新規事業創出に関する講義の企画・実施 ③メンタリング（個別伴走支援）の実施 ④新規事業計画書作成支援 ⑤不足するリソースの洗い出し及び連携先スタートアップ条件の具体化</p> <p>上記①～⑤における関連性、連続性について下記の通り質問をさせていただきます。</p> <p>・⑤について、連携先はスタートアップとの記載の通りスタートアップがメインスコープとなり、中堅や大手は含まれないという想定でしょうか。</p>
回答 (5/26 公表)	<p>本事業では、オープンイノベーションの観点からスタートアップとの連携を主な対象として想定しています。</p> <p>ただし、事業目的の達成に資する場合には、必ずしも対象を限</p>

	定するものではなく、柔軟な提案を妨げるものではありません。
--	-------------------------------

No. 6

大項目	2 業務内容
ページ・項目	P. 1～2
質疑内容	<p>①イノベーション機運醸成セミナーの企画・実施 ②新規事業創出に関する講義の企画・実施 ③メンタリング（個別伴走支援）の実施 ④新規事業計画書作成支援 ⑤不足するリソースの洗い出し及び連携先スタートアップ条件の具体化</p> <p>上記①～⑤における関連性、連続性について下記の通り質問をさせていただきます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・②③④について、②は新規事業創出に取り組むためのインプット、③は個社ごとの状況を踏まえた個別相談、壁打ち支援、④は今後の新規事業創出に向けた成果物の作成支援とそれぞれのプログラムは有機的に繋がる意図で設計されているものと推察しておりますが、③のメンタリングの実施についてのみ「支援対象事業者数」を5者～10者と対象者数を設定している意図について確認させていただくとともに、②のプログラム参加者のうち、③のプログラム希望者数が想定参加者数を超過する場合の選定プロセスに関してどのように想定されていますでしょうか。
回答 (5/26 公表)	<p>メンタリング（③）について対象事業者数を5～10者としているのは、個別伴走支援の質を確保する観点から、適切な支援規模と想定しているものです。</p> <p>なお、講義（②）参加者のうちメンタリング（③）を希望する事業者が想定数を超過する場合の選定方法については、事業者の意欲、事業の具体性、成長可能性等を踏まえた選定を想定していますが、具体的な方法については、より実効性の高い支援となる観点を踏まえた提案によるものとします。</p>

No. 7

大項目	2 業務内容
ページ・項目	P. 1～2
質疑内容	<p>④新規事業計画書作成支援⑤不足するリソースの洗い出し及び連携先スタートアップ条件の具体化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・上記④⑤について、③メンタリングの実施にある、支援対象事

	業者の5～10者に対して行う支援内容との理解でよいか。
回答 (5/26 公表)	<p>④新規事業計画書作成支援及び⑤不足するリソースの洗い出し及び連携先スタートアップ条件の具体化については、③メンタリングの対象となる支援対象事業者5～10者に対して実施することを想定しています。</p> <p>なお、講義参加者全体へのフォローや裾野拡大に資する取組を併せて実施することを妨げるものではなく、具体的な実施方法については提案によるものとします。</p>

No. 8

大項目	2 業務内容
ページ・項目	P. 1～2
質疑内容	<p>③メンタリング</p> <p>・上記③について、「1事業者あたり講義の合間の2回を想定」とあるが、本事業の委託先事業者が合計で2回以上のメンタリングを実施すればよいのか、支援対象事業者（5～10者）ごとに各2回実施するのか、どちらを想定していますか。</p>
回答 (5/26 公表)	<p>③メンタリングについては、「支援対象事業者1者あたり2回」を想定しており、支援対象事業者（5～10者）ごとにそれぞれ実施することを基本とします。</p>